

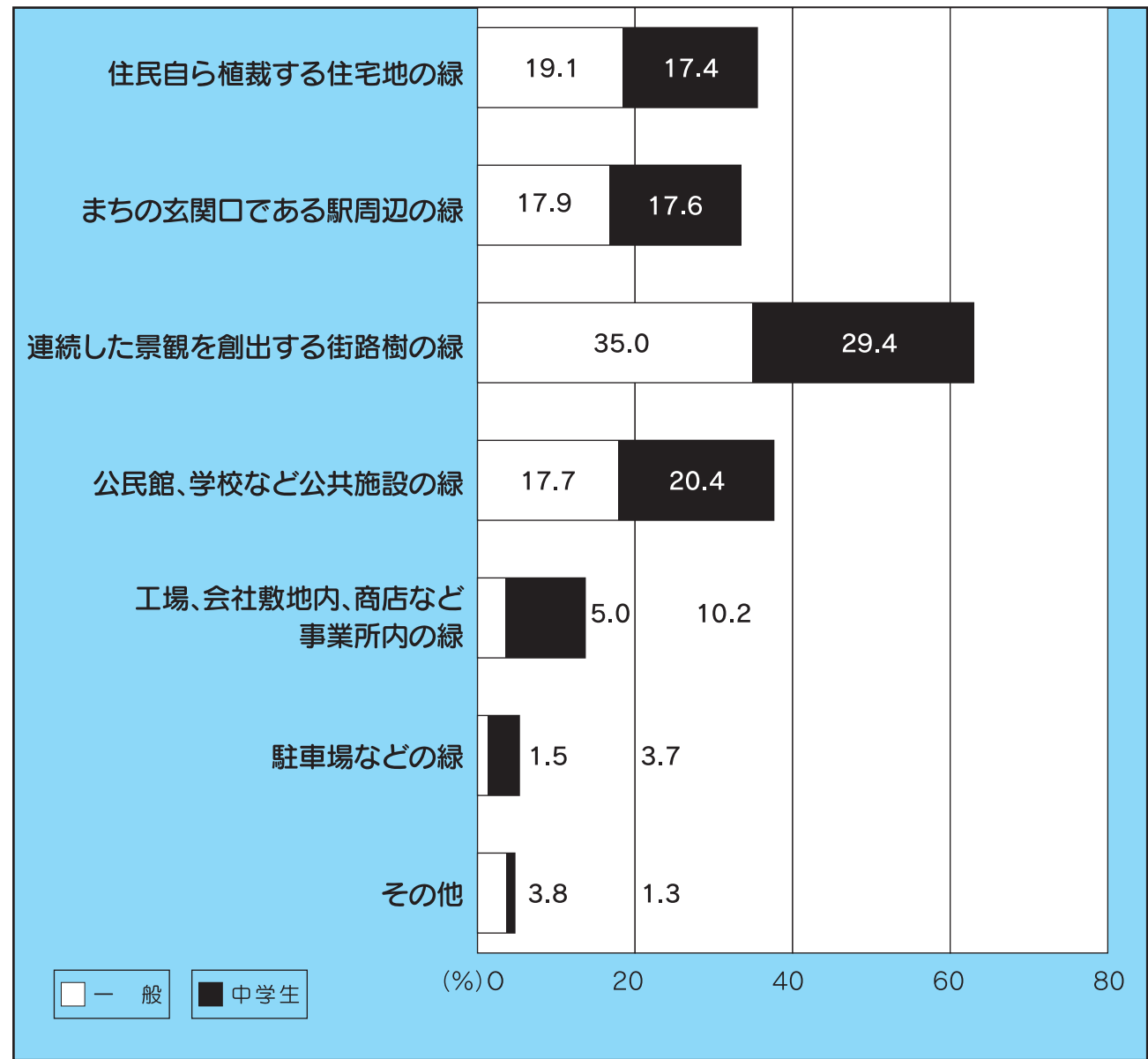
# まちづくりに関するアンケート調査結果報告

▽問7 力を入れるべきみどりづくり



「連続した景観を創出する街路樹の緑」が最も多い。  
力を入れるべきみどりづくりは「連続した景観を創出する街路樹の緑」が64.4%で、最も多くなっています。次に、「公民館、学校など公共施設の緑」や「住民自ら植栽する住宅地の緑」、「まちの玄関口である駅周辺の緑」が多く、意向は分散しています。

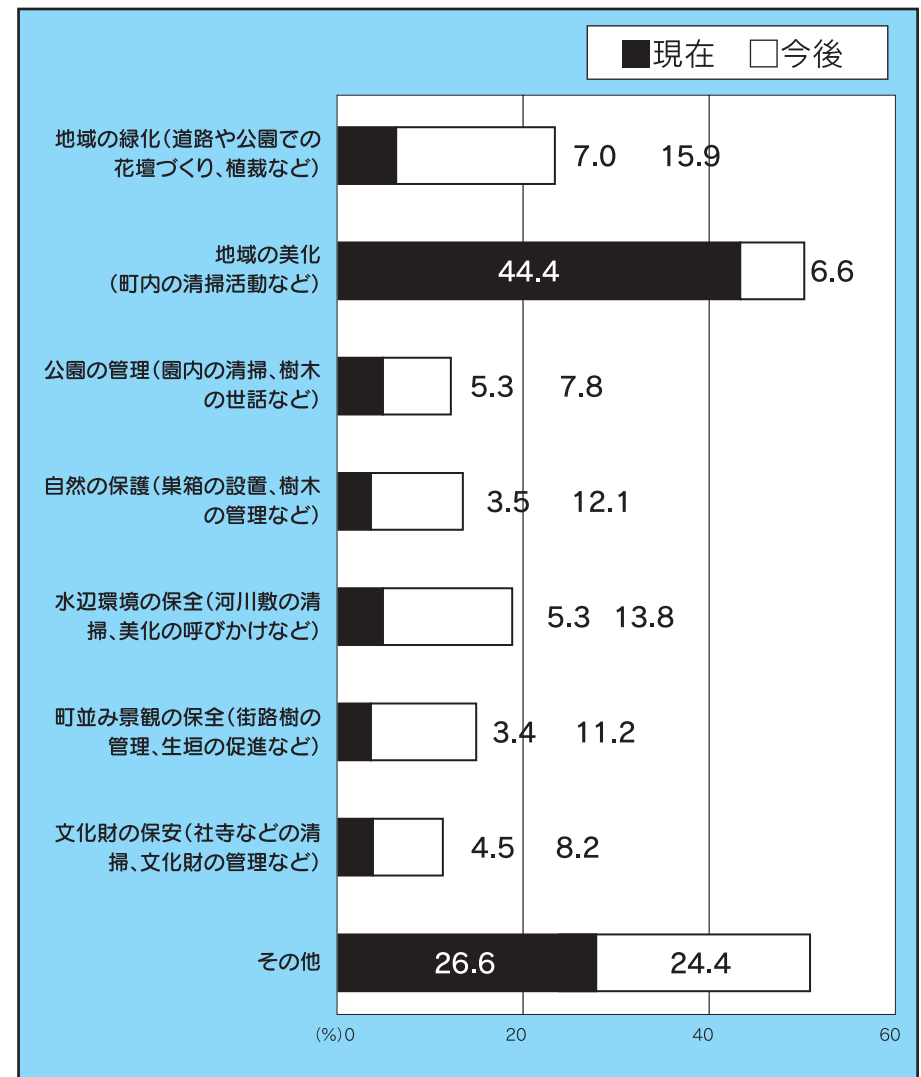
▼ 力を入れるべきみどりづくり



▽問8 自らが行なっているみどりづくり-今後行なうべき活動を

現在は「地域の美化」が中心、今後は「地域の緑化」、「水辺

▼自らが行なっているみどりづくり・今後行いたいみどりづくり



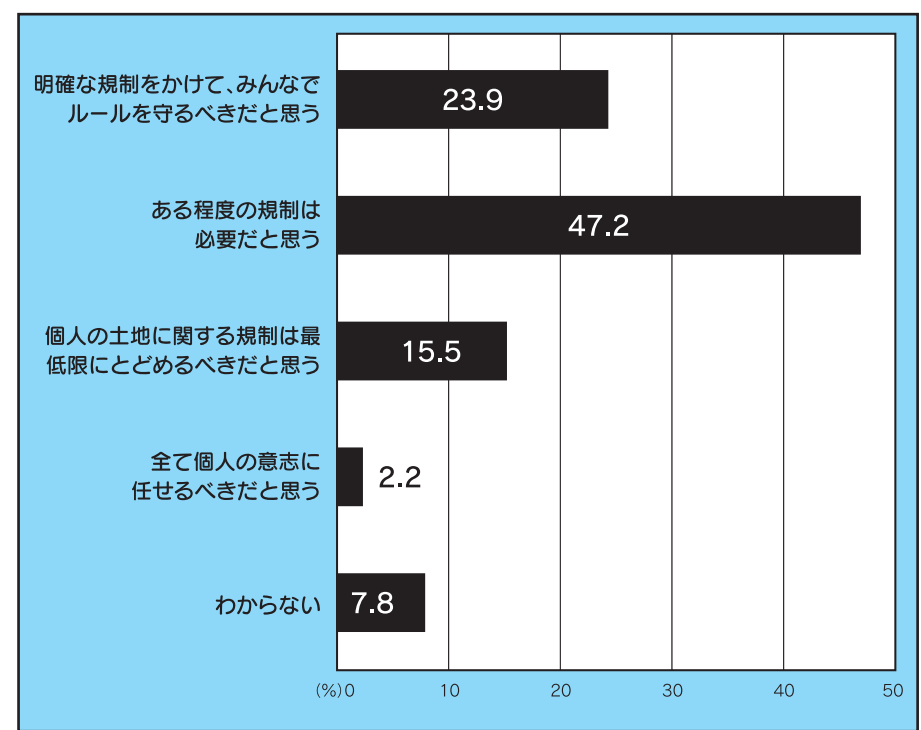
環境の保全」や「自然の保護」が多い。  
自らが行なっている活動は「地域の美化(町内の清掃活動など)」が44.4%で、最も多くなっています。今後は「地域の緑

化(道路や公園での花壇づくり、植栽など)「15.9%や「水辺環境の保全(河川敷の清掃、美化の呼びかけなど)「13.8%、「自然の保護(巣箱の設置、樹木の管理など)「12.1%などが多くなっています。

▽問9 環境問題への取り組み

環境に優しい、安全で快適なまちづくりには「ある程度

▼ 環境問題への取り組み



の規制は必要だと思う」が、最も多く47.2%をしめるとともに「明確な規制をかけて、みんなでルールを守るべきだと思う」も23.9%となっており、全体で71.1%が何らかの規制が必要としています。